

不思議の国より (No.6) (2026.4) 「半田滋さん講演とぼんち揚げ」 Alice(西東京)

憲法 9 条はシンゾーの集団的自衛権行使容認等の安保法制でズタズタにされながらも、今回のサナエ・ドナルド会談では戦争回避の偉力を遺憾なく発揮した。しかし、彼女の事だから「今回は9条で動けないが次回は9条を変えて参加します」位の密約はあるだろうと勘ぐっていたが、やはりそうらしい。

彼女の訪米の直前『九条の会・中野』主催、半田滋氏の講演を聴きに行った。「敵基地攻撃と日米一体化、防衛費倍増は国民負担に」の豊富な資料をもとに、さすが防衛ジャーナリスト、日本全国至る所に基地、民間飛行場の軍事利用、ポンコツ米兵器爆買い(ex 米軍が廃棄した「グローバルホーク」の旧式を629億円 + 毎年維持管理費120億円うち、30億円は米技術者40人の生活費)、かつて宮澤喜一外相が、「我が国は武器の輸出をして金を稼ぐほどおちぶれてはいないといえますか、もう少し高い理想を持った国として今後も続けて行くべきなのだろう」と言った理想は何処に、殺傷力のある武器を輸出し、造るのに企業単独では限界があるので国営工場を導入、『非核神戸方式』が今狙い撃ちされている非核3原則を見直して、核兵器導入等々「戦後は続く」どころかも「新しい戦前」は着々準備されている危機感をまざまざと感じた。

しかしまとめとして①「敵基地攻撃能力の保有」は「妄信」であって逆に戦争を呼び込む ②台湾有事の戦場は日本と台湾であり、米国や中国でない。対米支援は加害であり被害であって自滅 ③国民の犠牲に成り立つ国防はありえない。国民の安全確保の立案が不可欠 ④平和は軍事力でなく、命がけの外交によってはじめて実現する

これらの提起に確信を持って帰り際、いつも寄る「やさいや」さんで「西神高塚台5丁目工場製造」の「ぼんち揚げ100円」を見つける大発見！懐かしさで5つ買い占めお友達に自慢して配りました。



販売から50年を迎えたベストセラー商品「ぼんち揚げ」